

表 5.2 優先度評価結果一覧(1)

優先順位	地点番号	第二次スクリーニング計画																									
		(1) 第一次スクリーニング結果の精査	(2) ガイドラインに基づく優先度評価															(3) 新たな考え方に基づく優先度評価				(4) 保全対象に着目した優先度評価優先度評価					
			① 盛土/擁壁の形状・構造					② 変状				③	④	⑤ 造成年代		⑥ 変動確率		ランク	①	②	③	判定結果	主な保全対象		主な保全対象に対する優先度		
			のり面勾配	小段間隔	のり面保護工	ひな壇部分の傾斜	擁壁構造	宅地地盤	擁壁	のり面	周辺施設	地下水	盛土の下の不安定土層	造成年代	方式2(%)	滑動崩落を示唆する変状	想定される被害形態		湧水、変状等	盛土上	盛土下流						
1	小諸市0029	範囲変更	標準	標準	標準	—	鉄筋	非該当	無	有	有	無	有	可能性有	不明	1974年～2015年	前	1%	小	A1	無	すべり	排水工の変状	簡易調査	児童遊園地	道路	②
2	小諸市0043	範囲変更	—	—	—	—	練積	該当	無	有	—	無	無	可能性有	不明	1974年～2015年	前	97%	大	A4	無	擁壁	擁壁に横クラック	二次SC	工場	道路	②
3	小諸市0015	—	急	—	標準	—	複数	非該当	無	有	無	無	有	無	不明	1965年～2015年	前	64%	大	A1	無	擁壁	不適格擁壁 擁壁にクラック	二次SC	商業施設	田畑、道路	⑥
4	小諸市0036	—	標準	—	標準	—	—	該当	無	有	無	無	有	有	不明	1965年～1978年	前	51%	大	A4	無	すべり	排水孔からの 恒常的な出水	簡易調査	バス駐車場	事務所2	⑥
5	小諸市0031	—	—	—	—	—	練積	該当	有	有	—	無	有	無	不明	1974年～2015年	前	44%	小	A4	無	擁壁	擁壁に横クラック 宅盤に亀裂	二次SC	体育館	道路、田畑	⑥
6	小諸市0016	—	—	—	—	—	練積	該当	有	有	—	無	有	無	不明	1974年～2015年	前	64%	大	A4	無	擁壁	軽微	経過観察	資材置き場	鉄道	②
7	小諸市0014	—	標準	—	標準	—	—	該当	有	—	無	無	有	可能性有	不明	1974年～2015年	前	51%	大	A4	無	すべり	軽微	経過観察	工場	事務所、道路	②
8	小諸市0042	—	急	—	標準	—	鉄筋練積	非該当	無	無	無	無	無	無	不明	1975年	前	64%	大	A2	無	すべり	無	経過観察	住宅5、工場	住宅8	③
9	小諸市0023	—	急	—	標準	—	練積	非該当	無	無	無	無	無	無	不明	1965年～2015年	前	33%	小	A2	無	すべり	無	経過観察	集合住宅5	住宅7	③
10	小諸市0018	—	—	—	—	—	練積	該当	無	無	無	無	無	無	不明	1965年～2015年	前	71%	大	B3	無	すべり	無	経過観察	住宅12	住宅3、道路	③
11	小諸市0021	—	—	—	—	—	練積	該当	無	無	—	無	無	無	不明	1965年～2015年	前	48%	小	B3	無	すべり	無	経過観察	住宅12	住宅3	③
12	小諸市0022	—	—	—	—	—	鉄筋練積	非該当	無	有	—	無	有	無	不明	1974年～2015年	前	75%	大	A1	無	すべり	軽微	経過観察	事務所	住宅1	④
13	小諸市0005	—	急	—	標準	—	鉄筋	非該当	無	無	無	無	無	無	不明	1965年～1978年	前	44%	小	A2	無	すべり	無	経過観察	運動施設	住宅3	④
14	小諸市0017	範囲変更	—	—	—	—	練積	該当	無	有	—	無	有	無	不明	1965年～1978年	前	41%	小	A4	無	すべり	軽微	経過観察	工場跡地	住宅35	④

表 5.3 優先度評価結果一覧(2)

優先順位	地点番号	第二次スクリーニング計画																										
		(1) 第一次スクリーニング結果の精査	(2) ガイドラインに基づく優先度評価																	(3) 新たな考え方に基づく優先度評価				(4) 保全対象に着目した優先度評価優先度評価				
			① 盛土/擁壁の形状・構造					② 変状				③	④	⑤ 造成年代		⑥ 変動確率		ランク	①	②	③	判定結果	主な保全対象		主な保全対象に対する優先度			
			のり面勾配	小段間隔	のり面保護工	ひな壇部分の傾斜	擁壁構造	宅地地盤	擁壁	のり面	周辺施設	地下水	盛土の下の不安定土層	造成年代	方式2(%)	滑動崩落を示唆する変状	想定される被害形態		湧水、変状等	盛土上	盛土下流							
15	小諸市0035	-	-	-	-	-	練積	該当	無	無	-	無	無	無	不明	1929年~1978年	前	61%	大	B3	無	擁壁	無	経過観察	学校校庭	住宅10 (居住誘導区域)	④	
16	小諸市0041	-	-	-	-	-	鉄筋練積	該当	無	無	-	無	無	無	不明	1974年~2015年	前	44%	小	B3	無	すべり	無	経過観察	住宅16	河川、田畑	⑤	
17	小諸市0002	-	急	-	標準	-	巨石	非該当	無	無	無	無	無	無	不明	1974年~2015年	前	14%	小	A2	無	すべり	無	経過観察	宿泊施設	自然斜面	⑥	
18	小諸市0009	-	急	-	標準	-	練積	非該当	無	無	無	無	無	無	不明	1974年~2015年	前	64%	大	A2	無	すべり	無	経過観察	工場	田畑	⑥	
19	小諸市0033	-	急	-	標準	-	-	非該当	無	-	無	無	無	無	不明	1974年~2015年	前	61%	大	A2	無	すべり	無	経過観察	運動施設プール	運動施設駐車場	⑥	
20	小諸市0032	-	急	-	無	-	練積	非該当	無	無	無	無	無	無	不明	1974年~2015年	前	48%	小	A2	無	すべり	無	経過観察	運動施設駐車場	運動施設野球場	⑥	
21	小諸市0012	-	急	-	標準	-	練積	非該当	無	無	無	無	無	無	不明	1974年~1979年	前	27%	小	A2	無	すべり	無	経過観察	老人ホーム	自然斜面	⑥	
22	小諸市0003	-	急	-	標準	-	練積	非該当	無	無	無	無	無	無	不明	1981年~1988年	後	18%	小	A3	無	すべり	無	経過観察	木材加工所	田畑・自然斜面	⑥	
23	小諸市0006	-	急	-	標準	-	巨石	非該当	無	無	無	無	無	無	不明	1987年	後	25%	小	A3	無	すべり	無	経過観察	試験農場	田畑	⑥	
24	小諸市0013	-	-	-	-	-	練積	該当	有	無	-	無	有	可能性有	不明	1974年~2015年	前	79%	大	A4	無	擁壁	軽微	経過観察	工場	道路	⑥	
25	小諸市0034	-	標準	-	標準	-	-	該当	無	-	無	無	無	無	不明	1974年~2015年	前	14%	小	B3	無	すべり	無	経過観察	汚泥再生 処理センター	運動施設プール	⑥	
26	小諸市0011	範囲変更	-	-	-	-	練積	該当	無	無	-	無	無	無	不明	1974年~2015年	前	61%	大	B3	無	すべり	無	経過観察	工場	田畑	⑥	
27	小諸市0020	-	標準	-	標準	-	-	該当	無	-	無	無	無	無	不明	1974年~2015年	前	35%	小	B3	無	すべり	無	経過観察	資材置き場	田畑	⑥	

表 5.4 優先度評価結果一覧(3)

優先順位	地点番号	第二次スクリーニング計画																									
		(1) 第一次スクリーニング結果の精査	(2) ガイドラインに基づく優先度評価															(3) 新たな考え方に基づく優先度評価				(4) 保全対象に着目した優先度評価優先度評価					
			① 盛土/擁壁の形状・構造					② 変状				③	④	⑤ 造成年代		⑥ 変動確率		ランク	①	②	③	判定結果	主な保全対象		主な保全対象に対する優先度		
			のり面勾配	小段間隔	のり面保護工	ひな壇部分の傾斜	擁壁構造	宅地地盤	擁壁	のり面	周辺施設	地下水	盛土の下の不安定土層	造成年代	方式2(%)	滑動崩落を示唆する変状	想定される被害形態		湧水、変状等	盛土上	盛土下流						
28	小諸市0027	-	-	-	-	-	練積	該当	無	無	-	無	無	無	無	1979年	後	75%	大	B4	無	擁壁	無	経過観察	工場	工場周辺道路	⑥
29	小諸市0040	-	-	-	-	-	練積	該当	無	無	-	無	無	無	不明	1990年	後	1%	小	C	無	すべり	無	経過観察	工場	田畑	⑥
30	小諸市0010	-	急	-	標準	-	練積	非該当	無	無	無	無	無	無	不明	1974年~2015年	前	94%	大	A2	無	すべり	無	経過観察	工場	工場	⑦
31	小諸市0007	-	急	-	標準	-	-	非該当	無	-	無	無	無	無	不明	1974年~2015年	前	33%	小	A2	無	すべり	無	経過観察	工場の駐車場	工場	⑦
32	小諸市0001	-	急	不適	標準	-	-	非該当	無	-	無	無	無	無	不明	1974年~2015年	前	54%	大	A2	無	すべり	無	経過観察	ゴルフ場	ゴルフ場	⑦
33	小諸市0044	-	急	-	標準	-	練積	非該当	無	無	無	無	無	無	不明	1965年~2015年	前	79%	大	A2	無	すべり	無	経過観察	工場	自然斜面	⑦
34	小諸市0008	-	-	-	-	-	練積	該当	無	無	-	無	無	無	不明	1974年~2015年	前	44%	小	B3	無	すべり	無	経過観察	工場	工場	⑦
35	小諸市0038	-	標準	-	標準	-	練積	該当	無	無	無	無	無	無	不明	1965年~1978年	前	97%	大	B3	無	すべり	無	経過観察	工場	なし	⑦
36	小諸市0039	除外	急	-	標準	-	-	非該当	無	-	有	無	無	無	不明	1974年~1999年	前	-	-	A1	無	すべり	軽微	経過観察	-	-	-
37	小諸市0037	除外	急	-	標準	-	練積	非該当	無	無	無	無	無	無	不明	1965年~1978年	前	-	-	A2	無	擁壁	無	経過観察	-	-	-
38	小諸市0028	除外	標準	-	標準	-	-	該当	無	-	無	無	無	無	不明	1974年~2015年	前	-	-	B3	無	すべり	無	経過観察	-	-	-
39	小諸市0030	除外	-	-	-	-	-	該当	無	-	-	無	無	無	不明	1965年~2015年	前	-	-	B3	無	すべり	無	経過観察	-	-	-
40	小諸市0004	除外	-	-	-	-	鉄筋	該当	無	無	-	無	無	無	不明	1989年	後	-	-	B4	無	すべり	無	経過観察	-	-	-

5.3 今後の対応・課題

5.3.1 今後の対応

優先度評価を行った箇所について、今後表 5.5 に示す対応が必要だと考えられる。また、別途下記事項が考えられる。

- 二次 SC・簡易調査に分類された盛土
二次 SC・簡易調査に分類された盛土であることを土地所有者、民間事業者等へ連絡し、現状説明及び宅地耐震化推進事業に係る制度説明等を行い、二次 SC 等への着手を目指す。
- 経過観察に分類された盛土
当面の間、市が経過観察を実施し、今後、地権者・民間事業者へ経過観察の実施を指導する。

5.3.2 今後の課題

今後の課題として、下記事項が考えられる。

- 土地利用状況の確認について
本業務で優先度評価を行った箇所の実際の土地利用状況（空き家等）について確認し、必要であれば優先度の再評価を行う。
- 二次 SC、簡易調査の実施について
二次 SC 等の実施にあたっては、実施主体や費用に係る調整を踏まえた実施計画を立てる必要がある。
- 住民や事業者による経過観察について
経過観察は当面、全箇所を市が実施し、今後、住民や事業者等への移行やその方法についてを検討する必要がある。
- 居住誘導区域付近の盛土の優先度について
保全対象範囲に居住誘導区域が含まれる盛土については、今後の経過観察により変状等が認められた場合には、優先度の再評価を実施するとともに、二次 SC 等の実施の検討や、居住誘導区域の設定の見直しを検討する必要がある。